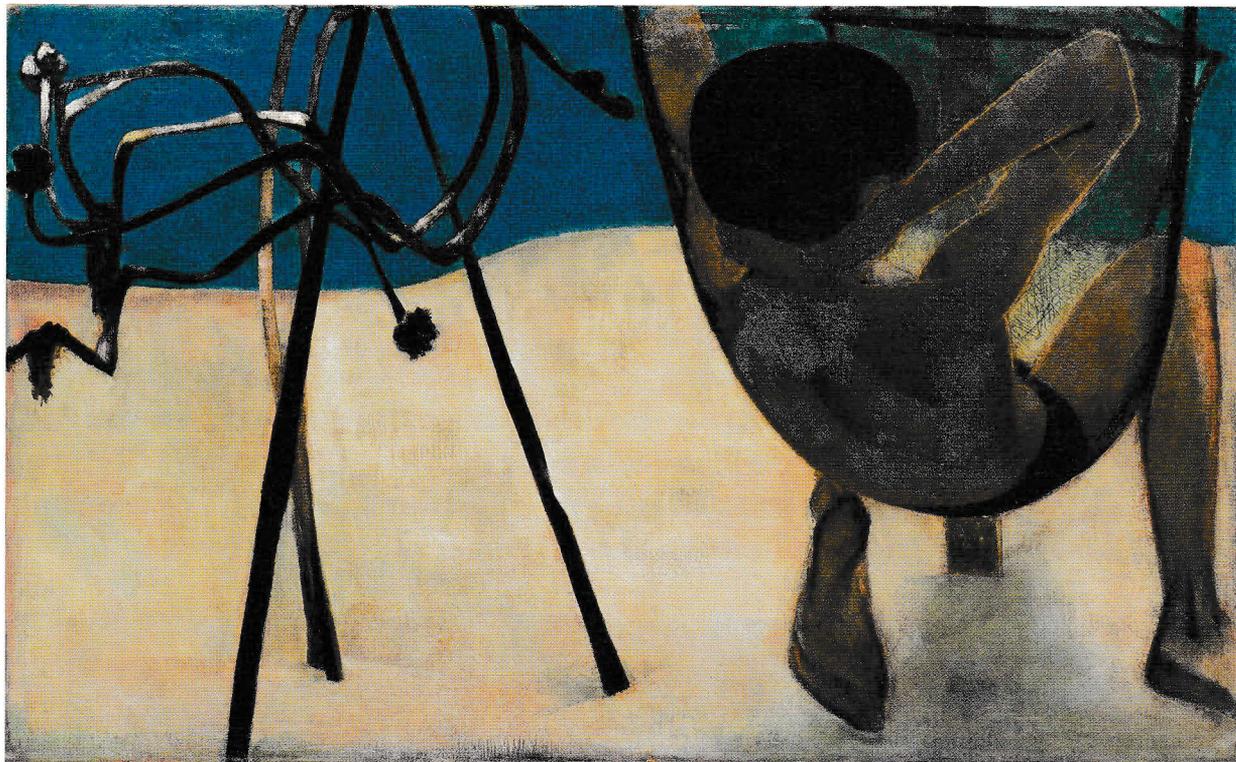


生誕110年

香月泰男展



《釣り床》1941年 東京国立近代美術館

※会期中に一部作品の展示替えを行います。

2021年7月3日(土) - 9月5日(日)

開館時間: 午前9時30分 - 午後5時
(発券は午後4時30分まで)

休館日: 月曜日(ただし8月9日は開館)、
8月10日(火)

主催: 宮城県美術館、河北新報社
後援: 仙台市教育委員会、NHK仙台放送局、tbc東北放送、仙台放送、
ミヤギテレビ、KHB東日本放送、エフエム仙台
監修: 山口県立美術館、香月泰男美術館
企画協力: 一般社団法人インディペンデント

観覧料: 一般1,000(800)円、学生800(600)円、小・中・高校生500(350)円 * ()内は20名以上の団体料金

生きることは、

私には

絵を描くことでしかない。



《北へ西へ》1959年 山口県立美術館

KAZUKI Yasuo: A Retrospective

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、本展および関連イベントの予定や内容に変更が生じる場合があります。その場合は当館ウェブサイトなどを通じて随時お知らせいたします。

宮城県美術館
THE MIYAGI MUSEUM OF ART

生誕110年

香月泰男展

KAZUKI Yasuo: A Retrospective

山口県三隅村(現・長門市)に生まれた香月泰男(1911-1974)は、東京美術学校で学び、国画会から画壇に出ました。澄んだ色彩と独特の叙情性をもつ絵画が注目され始めた矢先、召集を受けて満州へ従軍します。敗戦後にシベリア抑留に遭った香月は、多くの戦友を失った過酷な環境を生き延び、1947年に復員しました。

復員後の香月は、故郷を離れることなく、戦争と抑留の体験を元にした「シベリア・シリーズ」に取り組み、亡くなるまでに57点を描き上げました。黒と黄褐色の重厚な画面に刻まれた、極限状態の苦痛、鎮魂と望郷の思い、厳しくも鮮烈な自然の美しさは、今なお深い衝撃と感動をもたらしてやみません。

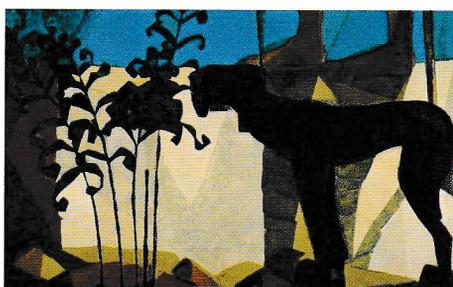
本展覧会は、東北に「シベリア・シリーズ」全点が揃う初めての機会となります。香月の体験順に沿って紹介されるのが一般的ですが、実は制作の順序は全く異なります。今回は物語を解体し、他の作品と併せて制作順に展覧することで、シリーズの位置づけを再検証します。また、詩情豊かな初期作品や、身近なモチーフを愛情込めて描いた作品など、「シベリアの画家」に留まらない香月の多彩な魅力を紹介し、その造形とメッセージの本質に迫ります。



《兎》1939年 香月泰男美術館



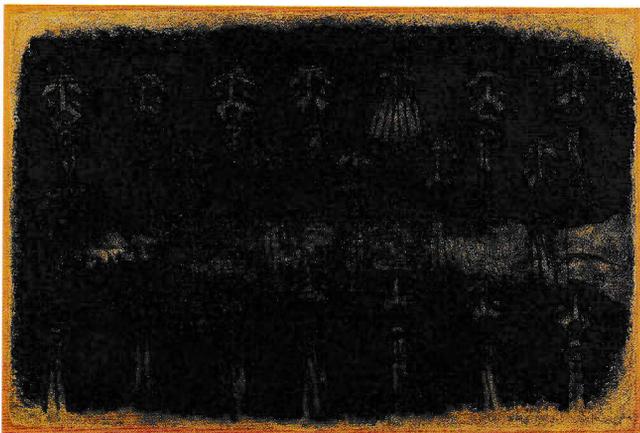
《風》1948年 東京藝術大学



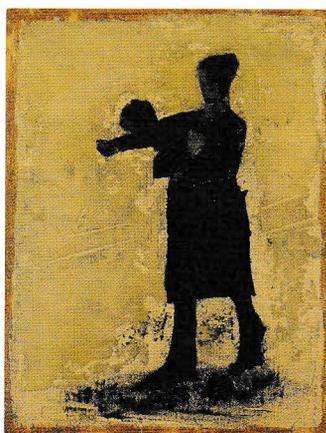
《散歩》1952年 愛知県美術館



《ハムとトマト》1953年 香月泰男美術館



《湿築》1960年 山口県立美術館



《駄々子》1968年 香月泰男美術館



《青の太陽》1969年 山口県立美術館

「シベリア・シリーズ」、東北へ。

【関連イベント】

講演会「香月泰男とシベリア・シリーズ」

講師：萬屋健司(山口県立美術館学芸員)

日時：7月3日(土) 午後2時～(90分程度、開場は午後1時30分)

会場：講堂

定員：150名 *先着順(聴講無料)

午後1時より、講堂前にて整理券を配布します。

学芸員による展示解説

日時：7月18日(日)、8月9日(月・祝)、8月29日(日)

いずれも午後2時～

(1時間程度、開場は午後1時30分)

会場：講堂

定員：150名 *先着順(聴講無料)

【リピーター割引】

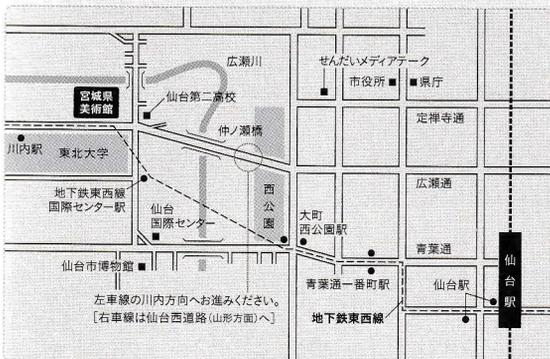
本展観覧済みのチケットを当館受付に提示いただくと、「香月泰男展」を当日料金の100円引きの金額で観覧できます。他の割引との併用はできません。

▲ 感染症予防のためのお願い—— 詳細は当館ウェブサイトでお確かめください。

•ご来館の際は、マスクの着用をお願いいたします。•風邪の症状がある方、体調のすぐれない方のご来館はご遠慮ください。•入館、退館の際の手指の消毒、検温、こまめな手洗い、咳エチケットをお願いいたします。•他のお客様とは距離をとってご鑑賞ください。•できるだけ会話はお控えください。•展示室が混み合った場合は、入場制限をさせていただく場合があります。なるべく会期の早い時期でのご観覧をおすすめします。

【次回特別展】

「ランス美術館コレクション
風景画のはじまり
コロアから印象派へ」
9月18日(土)～11月7日(日)



【交通案内】

- 地下鉄利用の場合 / 仙台市地下鉄東西線国際センター駅西1出口から北(右)へ徒歩7分、もしくは川内駅北1出口から東(右)へ徒歩7分
 - バス利用の場合 / 仙台駅西口バスプール9番乗り場より730系統「川内営業所前行」もしくは739系統「(広瀬通経由)交通公園循環」に乗車、「二高・宮城県美術館前」下車、徒歩3分
 - るーぶる仙台バスの場合 / 「国際センター駅・宮城県美術館前」下車、徒歩3分
 - タクシー利用の場合 / 仙台駅から約10分
 - 高速道路利用の場合 / 東北自動車道・仙台宮城I.C.より仙台市街方面(仙台西道路)に入り、仙台城跡方面を經由して美術館へ。宮城I.C.より約15分
- * 駐車場には限りがあります。できるだけ公共交通機関をご利用ください。

宮城県美術館

THE MIYAGI MUSEUM OF ART

〒980-0861 仙台市青葉区川内元支倉34-1

TEL.022-221-2111

<http://www.pref.miyagi.jp/site/mmoa/>

https://twitter.com/miyagi_bijutu



Website



Twitter